

コード	601040102
記入日	H24.5.14

課コード	120
課名	財産管理課
課長名	浜辺 文郎
担当者	堤田 勝

事業評価表【事後評価】

作成年度	平成 24 年度
------	----------

評価対象事業名称	本庁舎省エネ改修事業
----------	------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	6	政策名称	参加と行政による協働のまちづくり	款コード	2
施策コード	601	施策名称	行財政の効率化の推進	項コード	1
基本事業コード	60104	基本事業名称	公共施設の有効活用	目コード	6
事務事業コード	6010401	事務事業名称	庁舎管理事務費	細目コード	724
関連計画	地球温暖化対策	法令・条例規則等			

計画 (PLAN)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標
(対象1) 本庁舎 (延面積) (対象2)	(対象指標1) 4,052㎡ (対象指標2)
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)
(全体)	(評価年度実績)
	(指標名称) (指標数値) (達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)
・地域環境保全対策費等補助金 (地域グリーンニューディール基金) を活用して太陽光発電設備及び照明器具のLEDへの改修を行う。	① ***** 1.0式 100% 設置工事1.0式 ***** 平成23年度 (達成率分析) 計画どおりに実施することができた。
	② ***** 594基 100% 実績数量÷計画数量 ***** 平成23年度 (達成率分析) 計画どおりに実施することができた。
・太陽光発電設備 (5kW) 1.0式 ・照明器具のLEDへの改修 ・設計委託料	
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)
	(指標名称) (指標数値) (達成率) (達成率積算根拠) (目標達成年度)
・町の率先した取組みとして、一般町民の利用が多い本庁舎について、太陽光発電設備の設置及び照明器具をLEDに改修することにより、温室効果ガスの排出削減に取り組むとともに、自然エネルギー活用や地球温暖化防止に向けた取組みの重要性の啓発を図る。さらに庁舎の維持管理経費 (光熱費) の削減を図る。	① ***** 25,700千円 100% 実績事業費÷全体事業費 ***** 平成23年度 (達成率分析) 計画どおりに事業が実施できた。
	② ***** 年間500千円 - 50,000kw×9.7円×1.05 = 509,250円 ***** 平成24年度以降 (達成率分析) 今後、本庁舎の電気料金の削減が見込まれる。(LED照明効果 年間45,000kw削減、太陽光発電効果 年間5,000kw発電)

実施 (DO)

※単年度事業及び単年度繰返事業については、評価実績年度及び全体計画欄のみ記載する。

	単位	全体計画 H 23 ~ H 23		22年度以前	23年度	
		計画	実績	実績	計画	実績
活動指標	① 式	1.0	1.0		1.0	1.0
	② 基	594	594		594	594
成果指標	① %	100	100		100	100
	②					
総事業費 C (A+B)	千円	26,400	26,400		26,400	26,400
直接事業費 A	千円	25,700	25,700		25,700	25,700
人件費 B	千円	700	700		700	700
内訳	従事職員数	人	0.1		0.1	0.1
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円				
	県補助金	千円	25,000	25,000	25,000	25,000
	起債	千円				
その他	千円					
	一般財源	千円	1,400	1,400	1,400	1,400

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズを考慮しても、事業を行う必要がありましたか。	● はい いいえ	理 由	自然エネルギー活用や地球温暖化防止に向けた取組みとして必要であった。
	有 効 性	・事業の目的は達成されましたか。	● はい いいえ	理 由	町の率先した取組みとして、太陽光発電設備の設置及び照明器具をLEDに改修することにより、温室効果ガスの排出削減に取り組むとともに、自然エネルギー活用や地球温暖化防止に向けた取組みの重要性の啓発を図ることができた。(補助事業費内で実施予定の目的は達成された。)
	効 率 性	・より少ない費用や業務量で事業や活動が効率的に実施できましたか。	● はい いいえ	理 由	太陽光発電設備の設置及び照明器具をLEDに改修することにより、温室効果ガスの排出削減、自然エネルギー活用、地球温暖化防止とともに本庁舎の維持管理経費(光熱費)の削減をすることができた。

改善 (ACTION)

1 次 評 価	○今後の関連事業に対する改善点(事業方法の検証・事業の成果等の検証を踏まえて、今後の関連事業等に対する改善点)	
	<p>今回の事業については、補助事業費内での計画・実施という形であったため、本庁舎の照明器具の全部の交換はできていない。今後の課題として、類似事業の実施を踏まえ、照明器具の全交換が望まれ、さらなる効果が期待される。</p>	
2 次 評 価	○目的が達成されていない場合の課題と改善策(目的が達成されていない場合、また、課題が継続している場合の改善策)	
	<p>目的は達成された。</p>	
3 次 評 価	<p>町が率先して地球温暖化防止及び自然エネルギーの活用などに取組み啓発を図ることは重要であり、経費の削減にもつながる。今後は、1次評価の課題解決に向けて補助金等を活用しながら目標達成に努めること。</p>	

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。